

感動一点 の場

『チベットのヤク』
1983年頃 小川原 脩 画



タイトルが書き込まれていなかったら、何だろうと思ってしまう。羊かな？いやいや毛糸で作ったマスコットかも？いや、やはりチベットのヤクなのである。

何ともユーモラスなモジャモジャ風なデザインであるが、この動物の特徴を良く捉えている。

ヤクはウシ科の動物で、全身が長い毛で覆われており、雄の体重は三百Kgを超える。そのほとんどがチベット高原におり大半が家畜化されている。チベットのポタラ宮はヤクの乳で作った油で灯明を灯している。宮殿内の各室は灯明の煤で黒ずみ、その匂いは強烈である。小川原はこの毛深い図体の大きな動物に愛着を持っていたようである。

道はまだ雪の回廊のようですが、雪の下からは春の鼓動がかすかに聞こえてきそうです。ステキな作品いっぱい美術館で一息入れてみてはいかがでしょうか。

展覧会のお知らせ

「くつちゃんART2012」

油絵、日本画、水彩画、版画、3Dデジタルプリント、写真、陶など多様な技法の作品を展示した展覧会です。3月25日まで開催、お見逃しなく。

会場：小川原脩記念美術館第2展示室

「マイコレクション展」

小川原脩記念美術館所蔵の小川原脩、谷口一芳、酒井嘉也、棟方志功、繁野三郎など多彩な作家のバラエティに富んだ作品展です。初めて展示する作品もあります。

会期：3月28日（水）～4月15日（日）

ミュージアム通信

小川原脩記念美術館

☎21-4141 FAX 21-4142

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp

倶知安風土館

☎22-6631 FAX 22-6632

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/hoodokan/hoodokan.jsp

開館時間は9時～17時

(入館は16時半)

3月の休館日 6、13、21、26、27日



▲壁にこびりついた氷塊をハンマーとタガネで砕いている様子

▲流雪溝内の様子。過度な投雪によって溝の大半が埋め尽くされている

除雪に関するお願い

民間除雪業者へ

深夜（朝3時前）や通学時間の除排雪は地域住民に迷惑ですのでご遠慮下さい。

流雪溝使用者の皆様へ

機械による投雪、除雪業者による投雪は禁止です。集中大量投雪が長期閉塞の最大原因です。

木田金次郎美術館 ☎ 0135-63-2221

改修工事により4月10日(火)まで休館です。
美術館講座6「リニューアル前の現場見学」
3月10日(土)詳しくは木田金次郎美術館まで

西村計雄記念美術館 ☎ 0135-72-2525

春から夏の展覧会「聴くー私の西村さんー」
おやこで楽しむ展覧会「おさんぽ美術館」
いずれも3月15日(木)から始まります。

荒井記念美術館 ☎ 0135-63-1111

冬季閉館中(～4月15日(日))